

観光人材育成 役割探る

開南大や 自治体関係者 教育推進へ意見交換

弘大で日台国際フォーラム

弘前大学で25日、日台観光国際フォーラム「青森県におけるインバウンド観光

の人材育成」台湾 開南大学の取組を参考に大学の役割を考える」が開かれ、本県における観光人材育成に向け大学の果たすべき役割などについて関係者が意見を交わした。

(西尾 英)

的に生かせる人材の育成」や、「学生の人材

派遣」「即戦力を求めり得るなど、観光」る企業ニーズに合わせ、社会人向け講座の開催」などの声が上がったほか、民間事業者のたびすけ合同会社の西谷重佐代表は「今は農家でも観光人材にな

弘大は、昨年11月、結。これを機に同大と実践的な観光教育を行うカリキュラム上の連携う観光運輸学部を持つを強めインバウンド観光開南大と交流協定を締結光に関わるカリキュラ

ム構築などを目指しており、この日のフォーラムは今後の取り組み推進に向け開催した。

パネルディスカッション

ヨンは、開南大をはじめ、県・弘前市・平川市の自治体代表と民間事業者が参加し、それぞれが進めているインバウンド観光や台湾との交流について紹介。

観光人材の育成に向け今後大学に期待することについて、自治体関係者からは「コミュニケーション能力や文化を掘り下げる力を持ち、観光データを戦略

パネルディスカッションでは、開南大や県内自治体、民間事業者が意見を交わした

